

2018年7月10日(火)

有明新報 2面

鴻上さん 国際学会奨励賞

英語で プレゼン 集積回路の教育手法発表

有明高専

大牟田市東萩尾町の有明工業高等専門学校専攻科2年、鴻上(こうかみ)函南(こうなみ)さん(22)は第7回電子デバイス・回路・照明・システム関連教育・研究ワークショップ(EICIS)と同時に開催された国際学会で奨励賞を受賞。プログラミングの知識を生かした集積回路の教育手法が評価された。

EICISは広島工業大学工学部電子情報工学科の田中武教授が支部長を務める照明学会中国支部が主催。歴史科学館で開かれた。両

会場合わせて137人(うち海外から8人)が参加。21件の発表があり、5件が表彰された。

有明高専は第2回から6回連続で参加しており、前回に続く受賞。鴻上さんは今回から同時開催されるようになった国際学会(第1回電子デバイス・回路・照明・システム関連教育・研究国際ワークショップ)で

英語プレゼンテーションを行い、受賞した。

発表表題は「集積回路レイアウト設計教育の検討―プログラミングからのアプローチ―」。同高専では演算増幅器設計のゼミがあり、電子回路の設計・製造などを学んでいる。そこで電子回路の知識だけではなく、プログラミングが得意な人がその知識も生かして集積回路を学べるような教育システムを構築。「分野を超えて、集積回路を勉強しやすくなった」という。このテーマで企業と共同研究も行っており、「今後はツールの機能拡張を図っていきたい」と話す。

賞状を手に笑顔の鴻上さん



3月に「第21回LSI(高密度集積回路)デザインコンテスト」で準優勝している鴻上さん。9月にある「演算増幅器設計コンテスト」にも挑戦する予定で、「アナログとデジタル、両方で結果を残したい」と意気込